

*By Fax to (703) 872-9306**AI2**LOCKET # 4223
USSN: 10/017,983
A.U.: 2839; Cmp. #83.*

English translation of claim 1 of Utility Model Unexamined Publication Heisei

4-72488

(Claim 1)

(1) A contact-timing-differentiated connector wherein a plurality of contact receiving holes are formed in a housing, corresponding forced-insertion type fitting parts of contacts are forced and fitted in forced-insertion type fitting parts of the contact receiving holes, and movable contact parts of said plurality of contacts contact corresponding contact parts of an object to be connected to with at least two different kinds of contact timing, said contact-timing differentiated connector characterized in that said plurality of contacts are formed in the same configuration and said plurality of contact receiving holes are formed in at least two different configurations with the positions of their forced-insertion fitting parts differing from each other so that the movable contact parts of said plurality of contacts contact said corresponding contact parts of the object to be connected at two different kinds of contact timing.

AI2

4293
10/017,983

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-72488

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)6月25日

H 01 R 23/68
23/00
23/683 0 1 F
N
3 0 1 E6901-5E
6901-5E
6901-5E

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全2頁)

⑮ 考案の名称 接触タイミング差付きコネクタ

⑯ 実 願 平2-114937

⑰ 出 願 平2(1990)11月1日

⑱ 考 案 者 角 芳 幸 東京都品川区戸越6丁目5番5号 エスエムケイ株式会社
内⑲ 考 案 者 上 原 省 吾 東京都品川区戸越6丁目5番5号 エスエムケイ株式会社
内

⑳ 出 願 人 エスエムケイ株式会社 東京都品川区戸越6丁目5番5号

㉑ 代 理 人 弁理士 古澤 俊明 外1名

㉒ 実用新案登録請求の範囲

(1) ハウジングに複数のコンタクト収容孔を形成し、これらのコンタクト収容孔の圧入係止部に対応するコンタクトの圧入係止部を圧入して係止し、前記複数のコンタクトの可動接触部が接統対称の対応する接触部に少なくとも二種類の異なつた接触タイミングで接触するようにした接触タイミング差付きコネクタにおいて、前記複数のコンタクトを同一形状に形成するとともに、前記複数のコンタクト収容孔の形状を、その圧入係止部の位置が異なる少なくとも二種類の異なつた形状に形成することによつて、前記複数のコンタクトの可動接触部が前記接統対称の対応する接触部と少なくとも二種類の異なつた接触タイミングで接触するようにしたことを特徴とする接触タイミング差付きコネクタ。

(2) コンタクトの可動接触部は、その先端部から圧入係止部との連結部までの間の二箇所を復元用のバネ部を形成したダブルクッション形状としてなる請求項(1)記載の接触タイミング差付きコネクタ。

(3) コンタクトの可動接触部の先端部に、前記コンタクトの可動接触部が接統対称の接触部と接

触して変形したときに、ハウジングのコンタクト収容孔の側壁に当接して前記コンタクトの可動接触部の変形量を制限する突起部を形成してなる請求項(1)または(2)記載の接触タイミング差付きコネクタ。

図面の簡単な説明

第1図a、bから第4図までは本考案による接触タイミング差付きコネクタの一実施例を示すもので、第1図のaは第4図の接触タイミングの早いコンタクトを通る縦断線による側断面図、bは第4図の接触タイミングの遅いコンタクトを通る縦断線による側断面図、第2図はコンタクトの斜視図、第3図は第4図の一部を断面で表わした部分平面図、第4図は本考案によるコネクタの外観を示す斜視図である。

10.....ハウジング、20₁~20₂.....コンタクト収容孔、30₁~30₂.....コンタクト収容孔20₁~20₂の圧入係止部、40₁~40₂.....コンタクト、42.....コンタクト40₁~40₂の可動接触部、44.....コンタクト40₁~40₂の圧入係止部、50.....コンタクト40₁~40₂の突起部、60、60a.....プリント配線基板(接統対称)。

